

氏名： 粕川 正充 (KASUKAWA Masaatsu)  
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系  
職名： 准教授  
学位： 1993年7月東京工業大学博士(理学)取得  
専門分野： ユーザインタフェース、コンピュータアーキテクチャ  
URL： <http://www.is.ocha.ac.jp/~kasukawa/>  
E-mail： [kasukawa@is.ocha.ac.jp](mailto:kasukawa@is.ocha.ac.jp)

#### ◆研究キーワード / Keywords

ユーザインタフェース/オンライン手書き文字通信/USB 機器インタフェース  
User Interface / Online Calligraphic Communication / USB Device Interface

#### ◆主要業績

総数 (1) 件

・口頭発表: 粕川 正充「プロセッサ、OS、ユーザーインタフェースに品格は必要か」、2008年夏のプログラミングシンポジウム、2008年夏のプログラミングシンポジウム報告集、2009年1月発行

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

人間を中心としたコンピュータと人間の共棲を目指す。

現在のコンピュータのありかたは酷くいびつである。コンピュータをありうるべき姿で捉えなおし、人間にとって自然なパートナーであるように研究をしている。

Toward the Symbiosis of man and Computer, I study the interfaces between human and computer.

The development of computers stepped into the crooked way.

I hope to justify the way to the right one.  
Also I carry on research about Cryptography, Computer Architecture.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

学部講義としてコンピュータアーキテクチャ I、コンピュータアーキテクチャ II、情報倫理、基礎ゼミ「ことばとコンピュータ」を担当した。

コンピュータアーキテクチャ I はコンピュータのハードウェア面を主として授業を行った。コンピュータアーキテクチャ II はコンピュータのソフトウェア面を主としてオペレーティングシステムの授業を行った。

情報倫理はコンピュータセキュリティを管理者の立場で学ばせた。異常事態はなぜ発生するのか、また対策はどのように行うのか、再発防止はどうすればよいのか、また各段階で発生するコストはどの程度になるのかなどを講義し、レポートを課した。

基礎ゼミは「言葉とコンピュータ」を絡めた 1 年生向けの導入授業であり、全員に配布されるノートパソコンを利用して、ずっと課していたレポートの文章と授業担当者の作成した文章をコンピュータプログラムを用いて比較し、その結果を各自プレゼンテーションを行った。

## ◆研究計画

長年投稿を続けた「Icon を投げる」研究を共同研究者と共にさらに深く掘り下げたい。

病気の学生の希望で植物と人間とのインタフェースを手掛け、思わぬ切り口を得た。今年度はこれをブラッシュアップして共著論文として投稿予定である。